

地域活動団体（3団体）の概要

「加納西ひなたぼっこくらぶ」（岐阜市）

（1）活動概要

- ・「加納西ひなたぼっこくらぶ」は、県営愛宕住宅内にある集会所の一室を利用し、住民が集い交流できる拠点として、愛宕住宅の自治会と社会福祉協議会加納西支部が、社会福祉法人和光会と連携して、平成26年10月に開所した。
- ・週3日開放され、無料で利用できる。お茶を飲みながら談話したり、絵手紙や手芸、パソコン教室や健康づくり体操などを定期的に行なう。
- ・社会福祉法人和光会は、平成25年度に、北方町の県営住宅（ハイタウン北方）の集会所を活用した、地域住民の交流拠点「北方ひなたぼっこくらぶ」を、地域住民や各種団体と連携して立ち上げた実績がある。

（2）課題

- ・開所から1年半近くが経過したが、参加する住民が固定化しつつあり、なかなか参加者の増加につながっていない。
- ・高齢の住民が閉じこもりや孤立するのを防ぐため、より多くの住民に参加してもらい、支え合いの輪を広げていくことが課題である。

（3）県との関わり（支援内容）

- ・11月と3月の2回にわたり、入居者の関心が高い「高齢者の健康づくり」をテーマとした出前講座（漢方・薬膳茶による健康づくりセミナー、認知症予防につながる健康レクリエーション講座）を開催。県から講師を派遣。
- ・ボランティア講師などからの寄付によっている、手芸や絵手紙教室の教材等について、県から一部提供。

「垂井地区まちづくり協議会」（不破郡垂井町）

（1）活動概要

- ・垂井地区まちづくり協議会は、安全・安心で住みたくなる豊かなまちづくりを目指して、平成25年2月に設立された。垂井町には、7つの小学校区ごとにまちづくり協議会がある。
- ・子供茶道教室や歴史講座などの生涯学習事業や、青少年健全育成事業をはじめ、スポーツ交流イベントおよび相川河川敷ウォーキングなどの体育推進事業、文化祭等の地域ふれあい事業など、活発に事業活動を展開している。
- ・垂井地区に流れる「相川」の両岸に植えられた約200本の桜は、春に約350匹の鯉のぼりが空を泳ぐ風景と相まって、多くの人々が訪れる観光資源である。地域で愛されるこの相川桜を保全するため、住民ボランティア活動「さくらプロジェクト」を立ち上げた。

（2）課題

- ・さくらプロジェクトに賛同し協力してもらえる住民ボランティアを募集しているが、なかなか増えていかない。
- ・ボランティア養成講座や各務原の桜保全ボランティアとの交流により、保全活動の必要性やその魅力を住民に広く発信し、参加者を増やしていくことが課題である。行政や他団体との連携も模索していく。

（3）県との関わり（支援内容）

- ・27年3月と11月の2回にわたり、本巣市根尾の淡墨桜の保存活動を担っている樹木医による現地指導を含む講習会を開催。県から講師を派遣。
- ・12月、先進的に保全活動に取り組む各務原市の「百十郎桜保全ボランティア」の活動現場を視察し交流。ボランティアの立ち上がりから現在にいたる活動状況、行政との連携について学んだ。県で視察の機会をコーディネート。
- ・28年3月、「百十郎桜保全ボランティア」代表の方を各務原から垂井地区へ招き、相川の桜並木の現場を見ながら技術的指導を受けるとともに、ボランティア活動の立ち上げについて意見交換を行う講習会を開催。県から講師を派遣。

「高山市大八まちづくり協議会」（高山市）

（1）活動概要

- ・平成27年度、高山市内全20地区に「まちづくり協議会」が設立された。これを核として「協働のまちづくり」が展開されている。
- ・各まちづくり協議会は、市から支援金（補助金）の交付、各地区に2名の市担当職員の配置、事務所の提供などの支援を受け、それぞれの地域課題に応じたまちづくり活動を進めている。
- ・大八まちづくり協議会は今年度、役員らを対象に、KJ法によるワークショップの手法を学ぶ研修を行った。ワークショップを通じて、多くの人が意見を出し合い交流できる場を設けることにより、住民の当事者意識を高め、住民主体のまちづくりを目指している。

（2）課題

- ・地域住民のまちづくりに対する意識を高めて、住民主体のまちづくりを進めていくことを目指している。
- ・27年度から立ち上がったばかりであり、ノウハウや実績が少ないため、初年度に浮かび上がった課題を踏まえ、今後のまちづくり活動をどう進めていくか、中長期的なまちづくり計画の作成が課題である。
- ・近隣のまちづくり協議会や社会福祉協議会、事業所・NPOなど、他団体と幅広く連携して活動を進めていく。

（3）県との関わり（支援内容）

- ・9月と10月の2回にわたり、活動計画づくりを学ぶワークショップ研修を開催。講師（岐阜大学教授）による指導を受け、KJ法によるワークショップを行い、地域の課題を抽出し分類したうえで、その解決に向けた活動計画を作成する手法を学んだ。県から、講師及びファシリテーター（コミュニティ診断士）を派遣。
- ・11月から12月にかけて、県主催で、ファシリテーションを実践的に学ぶ「地域リーダー育成講座（3回連続）」を高山市で開催。今後、町内単位や各種団体内でワークショップを行っていくにあたり、ファシリテーションスキルを高めるため、まち協役員が受講した。
- ・2月に、近隣の丹生川まちづくり協議会と合同でワークショップ研修を開催。今年度の活動を振り返り、来年度に向けた方向性を話し合った。県から、講師（コーディネーター）及びファシリテーター（コミュニティ診断士）を派遣。